

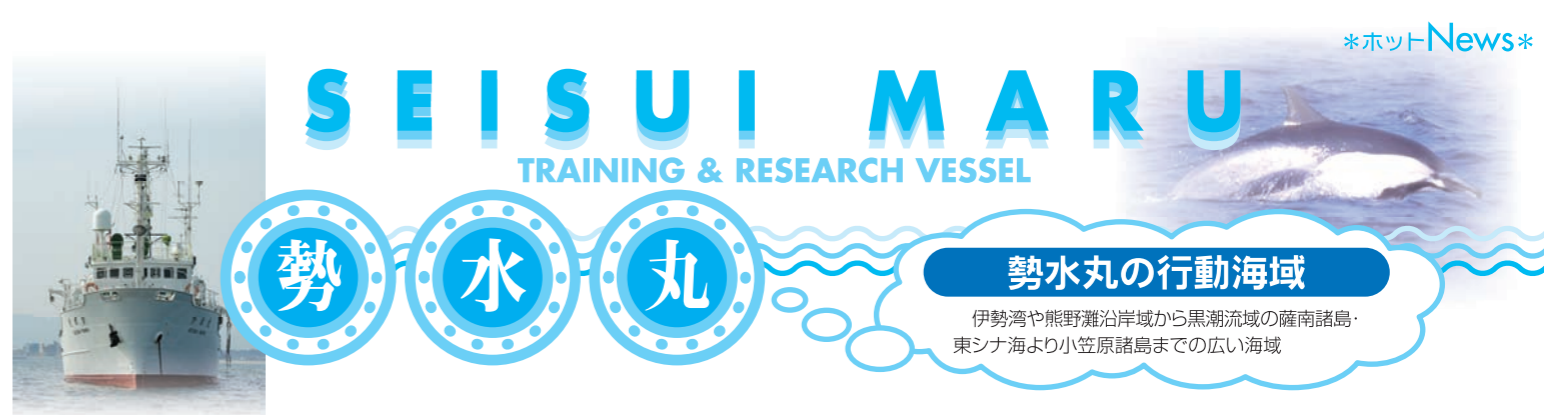
海で学ぶ、海を学ぶ

# 勢水丸

〔練習船〕

SEISUI MARU

広～い海の上で勉強できるなんて、最高!!  
 三重大大学の生物資源学部には「勢水丸」という練習船があるんだ。何をしてるかって?  
 「水産・海洋研究の人材育成」や「海に生きる生物資源とそれをとりまく環境の調査」などをしてるんだ。海のように深～い学問を机上だけでなく、実践を通じて勉強をしているんだよ。そのほか、僕がレポートしてきたことを報告するね。



## 勢水丸

### 勢水丸の行動海域

伊勢湾や熊野灘沿岸域から黒潮流域の薩南諸島・東シナ海より小笠原諸島までの広い海域

### 勢水丸(練習船)による実習教育

#### ●実習目的

海洋の生物資源を有効に利用し、環境を健全に保つという視点に立って、従来の水産学・海洋学の知識を身につけるだけでなく、現場においてそれらを理解し実践すること。

#### ●どんな実習

##### 【水産生物資源の持続的生産過程】

海の中にどんな魚がいて、いつ、どこで、何がとれるかを調べる。

##### 【現場の体験を重視した自学自習教育】

講義で教わったことを現場で体験し理解を深めていく。

##### 【海に関する環境科学の実習教育】

水温・塩分・潮の流れ・黒潮の接近・冷水海の接近・透明度などを調べる。

##### 【教育のための実習航海】

##### 【研究のための調査航海】

##### 【漁業実習】

魚種、漁場、漁獲、選別、保管を実践する。



### 生物資源学部での体験実習

●全学科1、2年生(洋上体験、あるいは海洋をフィールドとした実習体験)  
 必修科目としてフィールドサイエンスセンター体験実習とフィールドサイエンス実習。

●水産系・海洋系の2年生(乗船実習を必修)  
 演習・実習と船長の講義している「海事概論」で、洋上の安全確保についての基礎知識の習得と基礎訓練。

●3年生以降(専門教育として、練習船を利用する様々な実習)

実習航海や研究航海の内容は、学部で開講される多くの講義や実験および研究に反映されフィードバックされています。

### 勢水丸の教育研究実績

公表された研究論文の数は106編

水産資源の分布・回遊・行動・生活史や資源動態から海洋環境・汚染などについて「勢水丸を利用した海洋研究」としてまとめられています。

#### 特筆すべき成果

- 【1】イセエビの生活史の解明
- 【2】アユの回遊経路の解明
- 【3】ウナギの回遊経路の解明
- 【4】クジラ・イルカ類の調査
- 【5】遠州灘沖に出現した暖水塊の観測
- 【6】黒潮と紀伊半島沿岸振り分け潮の研究



### 情報ネットワークの整備 bioNET

陸上とほぼ同じように無線LANが整備され、各デッキ、各フロアから大学内、農場、演習林、水産実験所とのメール発信・受信やネットの閲覧が可能です。

CTD観測システムによって、海水の温度、塩分濃度を測ることができ、瞬時にデータを記録、蓄積ができます。

#### 次のステージに向けての海上ブロードバンド

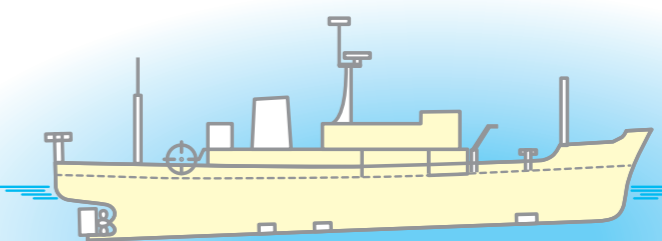
テレビ会議システムによる洋上からの講義や多くの人へのリアルな映像や声を伝えるために現在準備を進めています。



# SEISUI MARU

## 主要目

船舶番号 12258  
 信号符号 JIPK  
 長さ(全長) 51.40m  
 長さ(垂線間) 46.40m  
 長さ(登録) 46.90m  
 幅(型) 8.40m  
 深さ(型) 3.98m  
 総トン数 329t  
 国際総トン数 507t  
 純トン数 152t  
 航海速度 12.0Kn



定員  
 乗組員 16P  
 教官 4P  
 学生 26P  
 予備 3P  
 計 49P  
 容積  
 清水槽 41m<sup>3</sup>  
 雑用水槽 30m<sup>3</sup>  
 燃料油槽 204m<sup>3</sup>  
 魚艙 50m<sup>3</sup>

▼救命道具の装着練習



▼避難訓練



▼講義の様子



▼透明度の調査



▼CTD 塩分、水温、調査



▼ブリッチで操舵訓練



### ある日の実習風景



## 勢水丸を使った伊勢湾の環境調査・研究

伊勢湾やその沿岸域は、古くから漁業や特徴ある文化が発展してきました。しかし、経済の高度成長期に周辺陸域から多量の有機物負荷を受け、また干潟や浅海域の埋め立てなどにより、漁業や環境保全機能が著しく損なわれ、赤潮の多発や海底へのヘドロによる貧酸素水域の拡大等、環境悪化の進行とそれに伴う漁業生産の低下が大きな問題となっています。

現在、三重大学は三重県などと協力して水産学、海洋学、生物学や環境科学、社会科学を含む総合学際研究体制を構築し、伊勢湾とその周辺の環境保全と漁業生産活動が調和した新たな環境を創生するための基礎研究を行う計画をたてています。

近い将来、沿岸浅海域、干潟、藻場および後背湿地が有機物を分解する高い自然浄化能力を回復し、伊勢湾が再び豊かな海となることを願い研究をすすめています。

海の中には  
 様々な  
 生きものがいて  
 ワクワク



スジイルカ



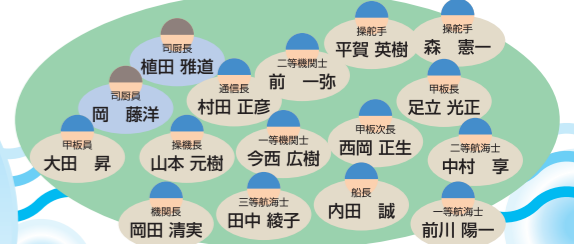
マッコウクジラ



シロシュモクザメ



勢水丸乗務員の人たち



## 豆知識

国立大学法人で練習船をもっている大学(水産系)

- 三重大学
- 北海道大学
- 東京海洋大学
- 広島大学
- 長崎大学
- 鹿児島大学



カヤモリ



アヤシシキ

## 練習船の共同利用

勢水丸は国立大学法人や公立大学では近畿・東海地区唯一の水産系練習船として、名古屋大学理学部などの他大学の水産・海洋実習の場を提供し大学間の連携を深めています。

## 公開講座などを通じての地域との交流

地域住民や子供たちがより深く楽しく海を知るため、公開講座や体験航海を毎年実施しています。海と陸との違いを体験し、多様な海の中の生物や海水・底泥を採集して、生物と環境の保全への意識を啓発し、理科・社会教育への参画に力を注いでいます。

洋上体験教室  
 「海から学ぼう」  
 7月29日・30日  
 ※詳しくは、本誌P27をご覧ください。



運がいいと  
 クジラやイルカに  
 あえるよ!!